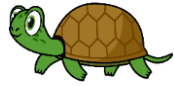




コース番号 4



北鎌倉禅の里から 鎌倉の風景・切通しとやぐら群を歩く 約5km

集合：JR 北鎌倉駅東口（下りホーム先頭側出口） 8時45分 9時00分 出発

コース：北鎌倉駅→円覚寺（総門のみ）→①白鷺池（びやくろち）→②東慶寺（拝観料無料）→③浄智寺（甘露の井と参道）→④亀ヶ谷坂切通し→⑤岩船地蔵堂→⑥浄光明寺（拝観料300円）→⑦浄光明寺墓地→⑧寿福寺  →小町通り→若宮大路・段葛→鶴岡八幡宮  →流鏝馬馬場の西の端「西の鳥居」ゴール ※雨天の時は浄光明寺が拝観できないので、円覚寺（拝観料500円）に変更（9:00 発表）

見どころ	写真
<p>①白鷺池（びやくろち） 円覚寺開山の無学祖元（仏光国師）が鎌倉に来た時、鶴岡八幡宮の神霊が白鷺となって道案内して池に降りたつたと伝わる。1889年横須賀線開通で参道を電車が横切ることになった。</p>	
<p>②東慶寺（縁切寺・駆込寺）   尼寺として建てられました。門の中へかんざしやゲタなど、女性の所持品を投げ込めばお寺に受け入れてもらえました。四季の花が美しく、今も昔も女性にやさしい人気のお寺です。</p>	
<p>③浄智寺（鎌倉五山 第四位） ここ浄智寺のすりへった石段、う〜んと唸りたくなる鎌倉の古寺の風景が、「交流ウォーク in 鎌倉」のチラシを飾りました！ 歴史の井戸・鎌倉十井（じっせい）の一つ「甘露の井」があります。左手の道を上がっていくと葛原岡神社・源氏山の方へ向かうハイキングコースです。</p>	
<p>④亀ヶ谷坂切通し（国指定史跡。鎌倉では谷をやつと読みます）  亀ヶ谷坂切通しは1240年（仁治元年）に北条泰時が造った重要な切通しでした。大仏坂・朝比奈・名越の切通しのような古道の迫力はありませんが、歩きやすいです。急な坂のため亀も引き返した、あるいはひっくり返ったことから別名「亀返し坂」と言われるようになったと伝えられています。</p>	
<p>⑤岩船地蔵堂（扇ガ谷にあるお堂） 八角堂ともいわれ白壁と屋根が大変美しい。源頼朝と北条政子の長女で、木曾（源）義仲の息子・義高の婚約者となった大姫が祀られています。木曾義高との悲運で、大姫は長年床に伏して苦しみ20歳の若さで亡くなりました。名執権・北条泰時が創建した常楽寺（鎌倉市）に木曾義高の木曾塚と、北条泰時の姫の墓、もしくは大姫の墓といわれる石塔があります。</p>	
<p>⑥浄光明寺（境内全域が国の史跡） 境内は谷戸を雛壇状に造成していて、中世寺院の景観がよく保存されています。奥まったところにあるため 神奈川ウォーキングクラブ のメンバーで訪れたことのある会員はわずか。この度、鎌倉の歴史と文化がギュッと詰まった、貴重な浄光明寺さんを知ることとなりました。山門の鬼瓦を観て奥へ進むと、客殿、庫裏、不動堂などがあり、収蔵庫には国指定の重要文化財・阿弥陀三尊像が安置されています。土や砂、漆などをこねてレースのように型抜きし、木像に装飾するという、中世の鎌倉のみで流行した「土紋」と呼ばれる装飾がほどこされています。「やぐら」も数多く、さらに登った所には冷泉為相（れいぜいためすけ・鎌倉時代の歌人、母は※「十六夜日記」作者阿仏尼）の墓があります。 ※阿仏尼さんは京都では解決出来ない所領紛争を、鎌倉幕府に訴えるために京都から下ったのですが、その際の道中、および鎌倉滞在中の出来事を綴りました。60歳近くの女性が弘安2年（1279年）10月16日に京都を出発、10月29日に鎌倉へ着いたそうですから、すごいですね！</p>	
<p>⑦浄光明寺墓地（東林寺跡にやぐら群と井上ひさしの墓） ハイキング支度をしなくても町の一角の革靴でも歩ける所に、10ものやぐら群が状態よく保存されています。舟形の天井や二階建ての珍しいやぐらがあります。鎌倉の自然保護にも力を入れてくれた、『ひょっこりひょうたん島』の井上ひさしさんのお墓にも訪れます。</p>	
<p>⑧寿福寺  朱塗りの総門から奥に続く石畳の道は、鎌倉一美しいといわれています。墓地のやぐらの中には、北条政子の墓、3代将軍・源実朝の墓といわれる五輪塔があります。</p>	